

スタートアップ・エコシステム形成支援 プラットフォーム紹介

令和3年度開始～令和7年度終了予定



プラットフォーム名 (令和4年12月時点)
GTIE(Greater Tokyo Innovation Ecosystem)

参画機関

主幹機関:東京大学、早稲田大学、東京工業大学 共同機関:筑波大学、千葉大学、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン、東京農工大学、お茶の水女子大学、神奈川県立保健福祉大学、CIC Toranomon、渋谷スクランブルスクエア、横浜国立大学、横浜市立大学、東京医科歯科大学、慶應義塾大学、東京都立大学 幹事自治体:つくば市、茨城県、川崎市、横浜市、渋谷区、東京都

協力機関:神奈川県、新宿区、富山県、中央大学、筑波技術大学、神奈川大学、関東学院大学、産業技術大学院大学、東京理科大学、多摩美術大学、滋賀医科大学、山形大学、芝浦工業大学、沖縄科学技術大学院大学、国立高等専門学校機構、バブソン大学、ルンド大学、ニューヨーク州立、テルアビブ大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、サンタクララ大学、横浜みなとみらい21、つくばグローバル・イノベーション推進機構、産業技術総合研究所、理化学研究所、物質・材料研究機構、日本貿易振興機構、国際協力機構、三井住友銀行、横浜銀行、SOMPOホールディングス、野村證券、東急不動産、森ビル、三井不動産、三菱地所、あずさ監査法人、三菱電機、野村アグリプランニング&アドバイザー、東京大学協創プラットフォーム開発、慶應イノベーション・イニシアティブ、Beyond Next Ventures、ウエルインベストメント、コランダム・イノベーション、Coral Capital、Landing Pad Tokyo、インキュベイトファンド、ANRI、スタートアップ・ブレイン、スケールアフト、インテグラル・インベストメント、アカデミック・ギャングスター、ダイアログ・カフェ・クラブ、FieldUP、マキシマイズ、iSGSインベストメントワークス、ABCash Technologies、みらい創造機構、理研鼎業、先端技術共創機構、カルチャービジョンジャパン、大川ドリーム基金、シリコンバレー・ジャパンプラットフォーム、Plug and Play Japan、500 Global、Sozo Ventures、Scrum Ventures、環境パートナーシップ会議、日本バイオデザイン学会、日本医療ベンチャー協会、エヌビディア、日揮、三菱ふそうトラック・バス、アーク

目指すスタートアップ・エコシステム

スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムが掲げる目標(令和6年目標:大学発ベンチャー数(コンソーシアム加盟大学)倍増(1066社)、ユニコーン級創出数(累計)20社)に貢献し、「世界を変える大学発スタートアップを育てる」ことを目指す。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

- 補正予算を活用したGTIEサーチファンドを令和4年度より開始するに際し、本予算を活用して、起業に関心のある大学関係者とスタートアップ企業立上げに関心があるGTIE関係者が参加できるコミュニティの運営や、GAPファンド運営に係る専門的な助言を得られる体制を整備する。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- 次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)で主幹機関を務めた東京大学、早稲田大学がそれぞれ実施しているプログラムを総動員し、本構想のステイクホルダーにシームレスに提供でき、東京コンソーシアム会員の大学で希望する者が何らかのアントレプレナーシップ教育を受講できるようにする(年間受講者数1万人以上を目標)。

(3) 起業環境の整備

- 令和4年度以降、東京工業大学の田町キャンパス(キャンパスイノベーションセンター東京)の一部を活用してGTIE活動拠点を形成し、専門家・メンターの配置、コミュニティスペースの運用等を進め、多くの起業家の活動とネットワークの拠点を整備する。

(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

- GTIEおよび東京コンソーシアムの参画機関のネットワークを相互接続し、特に海外ベンチャーキャピタルやアクセラレーターなどとの協業・イベントなどを積極的に進め、ユニコーン創出の確度を飛躍的に高める。

活動成果

- GTIEサーチファンドの内容の検討を行い、国あるいは民間からのGAPファンド資金獲得のための検討、準備を行った。
- アントレプレナーシップ人材育成プログラムの準備活動やパイロットプログラム(高校生向けプログラム等)の実施を行った。
- アカデミアから起業することのイメージや、起業を支援するステイクホルダーのアカデミアへの期待等の伝播を図るネットワーキングイベントと、首都圏スタートアップのグローバル展開を支援するためのイベントを実施した。

スタートアップ・エコシステム形成支援 プラットフォーム紹介

令和3年度補正予算による支援 令和4年度開始～令和4年度末 終了予定

プラットフォーム名: (令和4年12月時点)
Greater Tokyo Innovation Ecosystem
GTIE(Greater Tokyo Innovation Ecosystem)

参画機関

主幹機関:東京大学、早稲田大学、東京工業大学 共同機関:筑波大学、千葉大学、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン、東京農工大学、お茶の水女子大学、神奈川県立保健福祉大学、CIC Toranomon、渋谷スクランブルスクエア、横浜国立大学、横浜市立大学、東京医科歯科大学、慶應義塾大学、東京都立大学 幹事自治体:つくば市、茨城県、川崎市、横浜市、渋谷区、東京都

協力機関:神奈川県、新宿区、富山県、中央大学、筑波技術大学、神奈川大学、関東学院大学、産業技術大学院大学、東京理科大学、多摩美術大学、滋賀医科大学、山形大学、芝浦工業大学、沖縄科学技術大学院大学、国立高等専門学校機構、バブソン大学、ルンド大学、ニューヨーク州立、テルアビブ大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、サンタクララ大学、横浜みなとみらい21、つくばグローバル・イノベーション推進機構、産業技術総合研究所、理化学研究所、物質・材料研究機構、日本貿易振興機構、国際協力機構、三井住友銀行、横浜銀行、SOMPOホールディングス、野村證券、東急不動産、森ビル、三井不動産、三菱地所、あずさ監査法人、三菱電機、野村アグリプランニング&アドバイザー、東京大学協創プラットフォーム開発、慶應イノベーション・イニシアティブ、Beyond Next Ventures、ウエルインベストメント、コランダム・イノベーション、Coral Capital、Landing Pad Tokyo、インキュベイトファンド、ANRI、スタートアップ・ブレイン、スケールアウト、インテグラル・インベストメント、アカデミック・ギャングスター、ダイアローグ・カフェ・クラブ、FieldUP、マキシマイズ、iSGSインベストメントワークス、ABCash Technologies、みらい創造機構、理研鼎業、先端技術共創機構、カルチャービジョンジャパン、大川ドリーム基金、シリコンバレー・ジャパンプラットフォーム、Plug and Play Japan、500 Global、Sozo Ventures、Scrum Ventures、環境パートナーシップ会議、日本バイオデザイン学会、日本医療ベンチャー協会、エヌビディア、日揮、三菱ふそうトラック・バス、アーク

目指すスタートアップ・エコシステム

スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムが掲げる目標(令和6年目標:大学発ベンチャー数(コンソーシアム加盟大学) 倍増(1066社)、ユニコーン級創出数(累計)20社)に貢献し、「世界を変える大学発スタートアップを育てる」ことを目指す。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

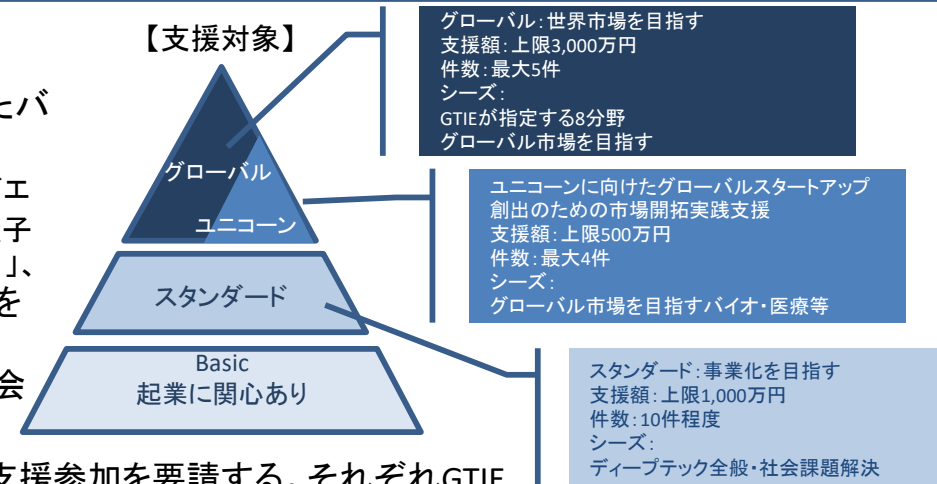
「ユニコーン(500万円を上限、計4件程度)」:大学等の技術シーズをベースにしたバイオ・医療、ヘルスケア、アグリ、材料等のディープテック分野を対象とする。

「グローバル(3,000万円を上限、計5件程度)」:GTIEが指定する8分野(「ライフサイエンス①ヒト(医療・創薬)」、「ライフサイエンス②基礎領域、ヒト以外」、「アグリ・フード」、「量子コンピュータ・半導体」、「材料・素材」、「GX(クリーン電力・代替エネルギー、ゼロカーボン)」、「DX(スマートシティ、スマートグリッド、AR・VR)」、「航空・宇宙」)から各分野最大1課題を支援する。

「スタンダード(1,000万円を上限、計10件程度)」:ディープテック全般に加え、社会課題解決を目指す課題を広く募集する。

- メンタリング(伴走支援)に参加する組織を公募し、組織としての契約に基づく支援参加を要請する。それぞれGTIE Start-up Trainingと称する起業・ビジネス創出に係る支援プログラムを提供する。
- 修了者に対してJST START事業をはじめNEDO、内閣府等の公的機関が実施する起業支援プログラムを紹介する。希望者に対してはVC等への紹介を行う。

【支援対象】



(2) 起業環境の整備

※令和3年度補正予算では本項目は実施せず、令和3年度に採択された本予算で集中して実施する。

活動成果

- 令和4年6月より活動開始のため、今後記載予定。